

■■■ なかよし情報200722:「天災」から「人災」になったらどうするか? ■■■

2020. 7. 22 教育文化研究所 長阿彌幹生 wrote.

今年の梅雨は本当に長いですね。まだ梅雨が続いています。いかがお過ごしでしょうか？私は雨の合間を縫って、近くの山に登っていますが、樹々の間からの蝉の声も長雨のせいかな少ないように思えます。早くカラっとした青空を見たいものです。



★7月14日久しぶりの夕焼け空。黒いシルエットの山は私がいつも登っている天拝山です。

■■■■■ なかよし情報200722:「天災」から「人災」になったらどうするか? ■■■■■

7月の初めに熊本県、大分県を中心に各地で集中豪雨による被害が多発しました。災害の復旧で大変ご苦労されている方々が多くいます。また東京を中心にコロナウイルスの感染が急拡大しています。福岡県でも増え続けていて、すでに感染の第二波に入ったのではないかと言われています。

まさにそんな時に、安倍政権は何を勘違いしたのか、「GOTO キャンペーン」を前倒しして今日から実施することになりました。コロナの感染拡大予防のための自粛で、多くの業界、企業などが打撃を被っています。観光業界も深刻です。それを何とかしなければということで、感染拡大が収束した段階でスタートの予定だったこの企画を明日からの4連休に間に合わせるようにと前倒し実施が急に決定されました。

それにしても国民の多くがこの時期のキャンペーンの実施に反対しています。にも拘わらず実施するにはどんな説得力のある理由があるのでしょうか？拙速な実施には納得がいきません。

むつ市の市長がこのことでコロナ感染者が全国的に拡散したら、もうそれは政府主導の人災だと言っていました。もしそうなった時に政府はどのような対応と責任を取るのでしょうか？安部首相は「丁寧な説明」「しっかりと対応」と口先だけで繰り返しています。この結果、コロナ感染が拡がり、多くの人たちが苦しみ、亡くなったらどうするのでしょうか？目先だけの経済にだけ配慮した今回の施策は日本の国の愚かさを象徴するものになるのではないかと危惧しています。

政府が頼りにならないならば、私たちは自衛するしかありません。政府が何を言っても自分自身でおかしいことはおかしい！ダメなものはダメと判断して行動すべきではないでしょうか。政治が信頼を失うことは、国の将来を危うくすることになりますが、現状ではそうならざるを得ない状況です。

そして、未来に夢を持つならば、もうこのような政権を二度と誕生させないように、政治への関心や投票への参加を積極的に進めていくことだと思います。諦めないで不幸な人が一人もいない社会の実現に向けて、進んでいきましょう！